

3月の政治・経済イベント

重要 01 米国の金融政策

昨年末の株価下落や米国経済の先行き不透明感の高まりを受けて、年明けにパウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長が追加利上げに慎重な姿勢を示し、1月末のFOMC（米連邦公開市場委員会）では利上げが見送られました。現在、市場は年内の追加利上げをほとんど織り込んでいない模様です。3月19、20日のFOMCでは、こうした市場の見方が追認されるかどうか注目されます。

重要 02 米中貿易・経済協議

米中間の貿易・経済協議は進展が見られた模様です。2月24日に、トランプ米大統領が「中国との貿易交渉で知的財産保護などの構造問題で十分な進展があった」とし、3月2日に予定していた中国製品の関税引き上げを延期すると表明しました。また、米中首脳会談で最終合意を目指すとし、市場の警戒感はやや弱まっているようです。ただ、米政府内では中国との貿易協議の決着について意見が割れている模様で、最終局面での難航も予想されます。

重要 03 英国のEU離脱

英国のメイ首相は、2月26日の議会演説で、英国の欧州連合（EU）離脱について議会の明確な同意がある場合にのみ、3月29日に合意なく離脱することになると述べ、これまでの方針を転換しました。今後は、3月中旬にかけて議会でEU離脱に関する詳細が議論されますが、議会の同意は難しく、英国が合意のないままEUを離脱する可能性が6月末まで延期され、2016年の国民投票で決定されたEU離脱のプロセスは大きな転換点を迎えることになりそうです。

3月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
1日(金)	米国 	ISM製造業景況感指数（2月）
7日(木)	ユーロ圏 	金融政策発表
8日(金)	中国 	貿易収支（2月）
8日(金)	米国 	雇用統計（2月）
12日頃	中国 	マネーサプライ、社会資金調達金額（2月）
14日(木)	中国 	鉱工業生産指数、小売売上高、固定資産投資（2月）
15日(金)	日本 	金融政策発表
20日(水)	米国 	金融政策発表
29日(金)	日本 	鉱工業生産指数、小売売上高、住宅着工件数（2月）
29日(金)	英国 	EU離脱期日

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
 (出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。